



株式会社 東京自働機械製作所  
Tokyo Automatic Machinery Works, Ltd.

証券コード：6360



東京自働機械

# 第 75 期報告書 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日

2024 BUSINESS REPORT

# トップメッセージ

Top Message

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より当社に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第75期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業の概況について、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 佐藤 康公



## 今期の業績

第75期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行等により経済活動の正常化が進みました。一方で、不安定な国際情勢を背景としたエネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇、為替変動の影響、世界的な金融引き締めによる景気減速懸念など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済情勢の下、当社は全社を挙げて業績の確保に努めました結果、当事業年度における業績は、売上高134億5千8百万円（前年同期133億6百万円、1.1%増）となりました。利益面では、高止まりする原材料価格や人件費、販売活動費の増加など利益圧迫要因が重なりましたが、生産性の向上や価格転嫁の取組みにより原価率が改善したこと等から、営業利益13億8千8百万円（前年同期9億8千5百万円、40.8%増）、経常利益15億4千6百万円（前年同期11億3千8百万円、35.9%増）、当期純利益11億1千6百万円（前年同期7億9千9百万円、39.6%増）となりました。

売上高

**13,458**百万円

営業利益

**1,388**百万円

経常利益

**1,546**百万円

当期純利益

**1,116**百万円

## 包装機械、生産機械の概況

各セグメント別の業績は次のとおりであります。

包装機械部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が収まり営業活動が正常化する中、競合他社との価格競争や部品調達困難な状況が一部で継続するなど、厳しい事業環境での受注活動を余儀なくされました。このような状況下、売上予定の一部が来期へずれ込んだこと等から、当部門の売上高は48億2千1百万円（前年同期50億4千1百万円、4.4%減）となりました。セグメント利益は、部材費の高止まりや積極的な営業活動に伴う販売費・一般管理費の増加などの利益圧迫要因に対し、効率化や価格転嫁の取組みを行ったものの全てを吸収することはできず、5千9百万円の損失（前年同期4千6百万円の損失）となりました。

生産機械部門におきましては、長年の信頼関係にある海外特定顧客向け大型プロジェクトの需要が当事業年度にも集中したことにより、売上高86億3千7百万円（前年同期82億6千5百万円、4.5%増）となりました。セグメント利益は、価格転嫁の取組みなどによる原価率の改善と売上増により20億6千万円（前年同期16億5千3百万円、24.6%増）となりました。

また、共通費は6億1千2百万円（前年同期6億2千1百万円、1.3%減）となりました。

## 今後の取組み

包装機械事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的なものとなり、経済活動の活発化が期待されるものの、不安定な国際情勢や継続した物価上昇による原材料価格の高止まり、一部の部材不足による納期への影響などにより、先行きが見えにくい状況が続いております。一方で人手不足や合理化・自動化によるコスト削減は今後も継続するものと見られ、加えて時流である「環境」「自動化」「IoT」「紙包装」等のキーワードに沿った設備投資も顕在化していくと思われまます。

また、生産機械事業におきましては、海外特定顧客の設備投資動向が引続き堅調ではあるものの、年度ごとの受注のバラつきがあり、また包装機械事業と同様、予断を許さない世界経済の景気動向からその設備計画の流動的な変更も予測されますので、最新の顧客動向の把握に努め、顧客との信頼/協業関係を一層深める必要があります。

このような状況下、当社といたしましては、人手不足を起因とした自動化需要など変化する市場要求を的確に捉えお客様のニーズや時流に合った商品開発、顧客提案を実施していくことで包装機械事業の一段の売上拡大と収益力向上を図ることが喫緊の課題と認識しております。

当社はコロナ禍等をきっかけに変化した事業環境を踏まえ、サステナビリティ、多様性、各事業の方向性などを織り込み、引続き社会に新たな価値を提供する「価値創造企業」となることを目指し、以下の課題に取り組み方針です。

- ① 包装機械事業の売上高拡大と海外比率アップ
- ② 生産機械事業量の安定的確保と利益確保
- ③ 持続可能な社会実現に向けたサステナビリティ経営の実践

今後も社会情勢や景気動向を注視しながら、これらの課題に対処し、継続的な成長を目指す所存です。

# 製品のご紹介

Product Information

当社の主な製品についてご紹介します。

## 紙包装機

(銘産品／贈答品用包装機)

納入実績日本一を誇る銘産品／贈答品用の上包機です。美しい包装仕上がりが評価され、全国各地のお客様にお使いいただいています。



## 製袋充填機

(縦型ピロー包装機)

各種商品を袋詰する包装機です。スナックやキャンディ等のお菓子、コーヒー、小麦粉等の粉もの、冷凍食品等あらゆる商品の袋詰機械として活躍しています。



## フィルム包装機

(集積上包機)

様々な箱ものを集積包装する機械です。前・後工程とのライン化にも柔軟に対応し、包装工程の高速、効率化に貢献しています。



## 粉体充填機

(オーガー充填機)

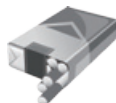
品種替えや清掃等にかかる作業時間を大幅に削減した粉体充填機です。当社の製袋充填機と一体型の粉体充填システムも豊富な納入実績を誇ります。



## たばこ生産機械

(フィルタプラグ関連機械)

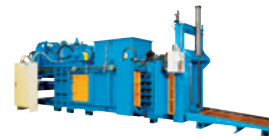
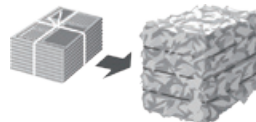
40年以上の経験と実績から生まれた、コストパフォーマンスの高い、たばこのフィルタプラグ関連機械です。中国、韓国、台湾への納入実績もあります。



## リサイクル機械

(自動結束ベラー)

回収されたペットボトル、布、古紙等を圧縮梱包する機械です。高密度の圧縮梱包により、輸送コストの削減に貢献しています。



## ラインシステム

商品の特性や設置スペース等に合わせ最適な包装ラインを提案し、お客様の課題解決に取り組んでいます。様々な機械を組み合わせ、生産ラインの自動化や省人化に貢献しております。

写真のラインシステムではスナック等を製袋充填機で袋詰めし、自動で段ボール詰めまで行います。



## 各種生産機械（大型プロジェクト等）

お客様のニーズに合わせて当社の製品開発技術力により開発した各種の産業用機械・設備・装置を提供しています。海外へも販売しています。

## 水切機能を付加した新包装形態「ZALPACK®」



水切機能を付加した新しい包装形態「ZALPACK®」を開発しました。「ZALPACK®」は、ザルが必要な水切りをする食品に対して、ザルを洗う時にたくさんの水を使ってしまう、ザルを使うそのひと手間も減らしたい、そもそもザルを持っていない…、袋がザルの代わりにならないかというアイデアから生まれたエコで便利な新しい包装形態です。パッケージ（袋）下部のラインに沿ってカットすることで穴が開き、ザルのように水切りができます。

製品企画プロジェクトとして、当社の女性社員6名によって、「TAMのものづくりを活かせるコトづくり」をコンセプトに様々なアイデアを出し、その中の一つとして「ZALPACK®」が生まれ出されました。

そして、株式会社紀文食品様の「糖質0g麺」にザルがいらない新パッケージに当社の包装形態「ZALPACK®」が採用されました。（2024年3月販売開始）

今後も新しいアイデアを生み出し、社会に新たな価値を提供できるよう取り組んでまいります。

## 健康経営宣言

当社は、かねてより従業員の健康維持・増進の取組みを、経営上の重要課題と位置付けておりましたが、2023年11月に健康経営宣言を制定しました。

### 株式会社東京自働機械製作所 健康経営宣言

株式会社東京自働機械製作所は、すべての従業員が心身ともに健康で、一人ひとりの能力を最大限に発揮することが企業の発展に極めて重要であると考えます。

創業以来当社は、「企業は生活協同体である」を理念とし、「常に健康で信義誠実を守り 楽しい職場をつくろう」を社是として掲げ、従業員の健康づくり、健康的な職場づくりに取り組んでまいりました。

これからも従業員が安全に、安心して楽しくいきいきと働ける職場づくりを目指し、健康経営に取り組むことを宣言いたします。

代表取締役社長 佐藤 康公

### 重点分野に係る各種施策

こころとからだの健康のために
社内・社外相談体制の充実
健康診断および精密検査受診100%
からだのセルフケアに関する支援
こころのセルフケアに関する支援
治療と仕事の両立支援
快適な職場づくり

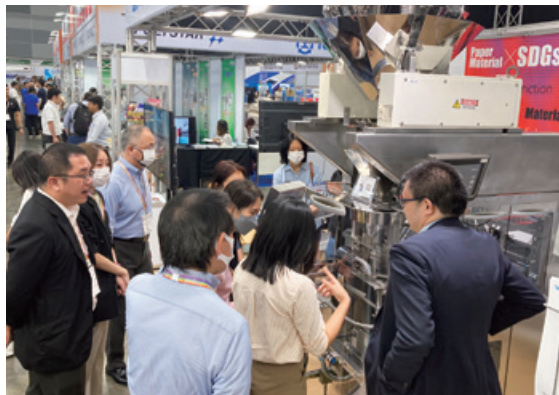
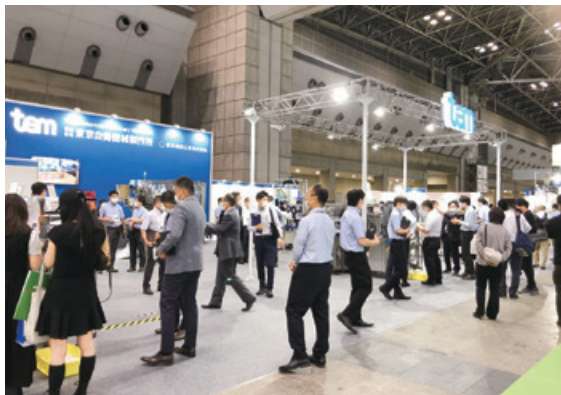
健康的な働き方のために
長時間労働防止
ノー残業デーの実施
柔軟な働き方の推進と充実した生活の応援
感染症対策
感染症に対するスピーディーな対策発信
個人の対策強化を支援



## 展示会

第75期は、「西日本食品産業創造展'23」、「2023NEW環境展」、「FOOMA JAPAN2023」、「JAPAN PACK2023 日本包装産業展」、「ProPak Asia 2023」、「Gulfood Manufacturing 2023」（初出展）等、国内外で開催された展示会に出展し、多くの包装機を実演・展示しました。

今後も魅力ある商品づくりに努めるとともに継続して各展示会に参加し、新機種をはじめとした当社製品の販売拡大に取り組んでまいります。



## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社 東京自働機械製作所
設立	1944年6月
資本金	9億5,400万円
従業員数	266名
事業内容	一般各種自動包装機械、たばこ製造・包装機械、圧縮梱包機、組立機などの開発・設計、製造、販売

## 役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長	佐藤 康 公
取締役会長	山本 治 男
取締役	渡邊 義 達
取締役	吉田 英 司
取締役	長友 康 夫
取締役	中村 洋 一
常勤監査役	石原 英 威
監査役	山口 秀 夫
監査役	前田 剛 介

## 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)

## 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式の総数	1,452,000株
株主数	1,278名

## 事業所一覧

- 本社 東京都千代田区岩本町3-10-7 (東自機ビル)  
TEL : 03-3866-7171 (代表)
- 大阪営業所 大阪市西区阿波座1-15-15 (第一協業ビル6階)
- 名古屋営業所 名古屋市中区村区大日町4-2 (パールハイツ1階)
- 福岡営業所 福岡市博多区比恵町3-17  
(フェイズイン博多ビル4階)
- 札幌営業所 札幌市西区琴似3条1-1-20  
(コトニ3・1ビル5階)
- 設計開発部 千葉県流山市駒木台149
- 柏工場 千葉県柏市西原7-3-1

## 公告掲載方法 (公告掲載URL)

[https://www.tam-tokyo.co.jp/ir/ir\\_densikoukoku.html](https://www.tam-tokyo.co.jp/ir/ir_densikoukoku.html)  
当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する。

証券コード 6360

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード

